

#### (4) 印刷・同関連産業

##### ◆ 概要

平成17年の工業統計調査結果報告(従業者4人以上の事業所)によると、京都市の印刷・同関連産業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等は、それぞれ343所、7,166人、2,197億36百万円となっている。

前年の平成16年と比較して、事業所数は10所減(△2.8%)と7年連続の減少、従業者数は277人減(△3.7%)と12年連続の減少で、減少傾向に歯止めがかかっていない。ただ、製造品出荷額等は平成14年以降増加傾向で、前年と比較すると113億28百万円増(5.4%)となっている。これは、業界環境が厳しさを増す中、最新の設備の投入により生産効率の向上を図るとともに、自社の特色を生かした営業を行った結果、1事業所当たりの出荷額を6億40百万円(前年比8.6%増)と増加させたことが要因に挙げられる〔表Ⅱ-3-4-1、図Ⅱ-3-4-1〕。

##### ◆ 市内の印刷・同関連産業の特色

印刷業・同関連産業は、他の政令指定都市と比較すると、大阪市、名古屋市に次いで第3位の製造品出荷額を誇っている(平成16年大都市比較統計年表より)。

印刷業は、同産業の中で事業所226所(構成比65.9%)、従業者数5,472人(同76.4%)、製造品出荷額等1,965億66百万円(同89.5%)と大きな割合を占めている〔表Ⅱ-3-4-2〕。特に、京都市では、伝統美術や伝統産業のメッカであるといった地域性から、染織、絵画、工芸、デザイン等関連性の高い技術が蓄積され、発展したため、現在でも、高級美術品の印刷を得意とした企業が多く存在している。

また、都市に需要が集中する都市型産業であるとともに、納品までに多くの校正を重ねる必要があることから、比較的近距離の企業に発注されやすいといった業界特性がある。そのため、地元との取引に支えられた事業所が多く、地元の景気動向に左右さ

れる地元密着型産業といえる。

近年では、これまでの事業による蓄積を活用しながら、デザイン等の企画から販売促進まで幅広い業務をこなし、新しいタイプの情報産業へと脱皮を図る企業も出現している。

この業界では、景気の低迷にもかかわらず、印刷機の高速化、多色化及び電子編集システムの導入による生産能力の増大は続いており、価格、品質、企画力等の総合力で競争するという状況にあり、企業間格差は更に拡大している。

表Ⅱ-3-4-1 印刷・同関連品産業の事業所数，従業者数，製造品出荷額等の推移

(単位：所，人，百万円)

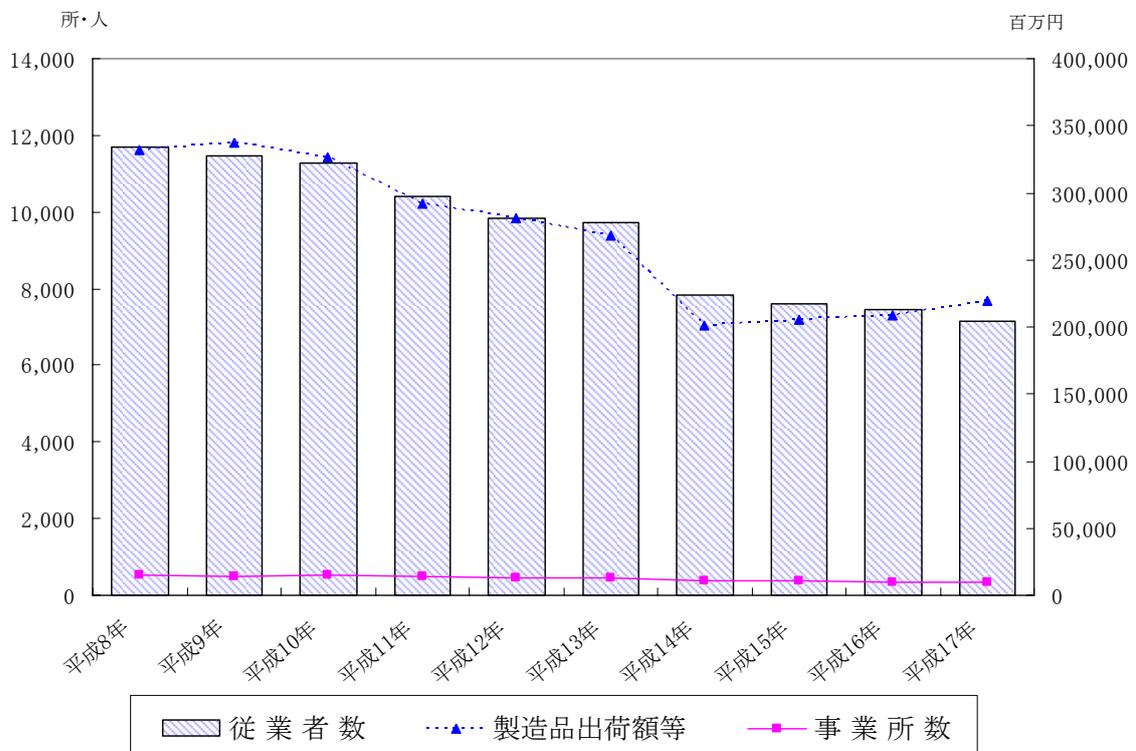
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成8年	524	11,706	331,701
平成9年	492	11,448	337,157
平成10年	520	11,260	326,712
平成11年	475	10,394	292,103
平成12年	457	9,839	281,449
平成13年	447	9,727	268,130
平成14年	395	7,815	201,604
平成15年	390	7,617	204,907
平成16年	353	7,443	208,408
平成17年	343	7,166	219,736

資料：京都市総合企画局「平成17年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

※平成13年以前は、「新聞業」及び「出版業」が含まれている。

(平成14年から産業分類が改定され、「新聞業」及び「出版業」は、大分類「H-情報通信業」に移行した。)

図Ⅱ-3-4-1 印刷・同関連品産業の事業者数，従業者数，製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成17年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

表Ⅱ-3-4-2 印刷・同関連産業（産業細分類別）の事業所数, 従業者数, 製造品出荷額等

(単位：所, 人, 万円)

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
印 刷 業	226	5,472	19,656,641
製 版 業	34	655	1,338,208
製 本 業	47	630	655,818
印 刷 物 加 工 業	34	375	—
印刷関連サービス業	2	34	—
総 計	343	7,166	21,973,648

資料：京都市総合企画局「平成17年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：皆無又は該当件数がない箇所は、「—」で表記。